

# 根津鋼材 シャー4台導入

## 3拠点に品質、生産性向上

有力コイルセンターの根津鋼材（本社・東京都荒川区東日暮里、社長・根津訓光氏）は、来年4月以降、須賀川事業所（福島県）と八潮事業所（埼玉県）および子会社の村田鋼業（千葉県浦安市）の3拠点に、シャリングマシン計4台を順次、導入する。いずれもアマダ製セミオートシャーで、切断速度を落とさずに無キズで製品集積できる「電磁式キズ軽減パイラー」を装備するなど品質と生産性を両立する仕様とする。



根津社長

明年4～6月にかけて

「ATF10335S」

（最大板厚3・5ミ、

最大幅1・3ミ）を須業については既存のシャー3台を撤去して23台体制となる。加工に2台設置する計画だ。

八潮に1台、村田鋼業に2台設置する計画だ。

各拠点とも老朽化リプレースだが、村田鋼

数を減らすことで置場スペースを広げるなど空いた中間面積を有効活用する。

新設するシャーは、いずれも根津鋼材の要望を採り入れたカスタマイズ仕様。切板製品にキズが付かないよう垂直落下する電磁パイラーのほか、切板の多列梱包機能も装備し、省人化を図る。また、生産性向上を重視するため、あえて出側のセンサーを外す。シャーはネットワーク対応機種。事務所で作成した加工データをLAN経由で入力できるので、同社が推進し進めるペーパーレス化にも寄与する。なお、これらは、生産性向上設備投資促進が対象が可能な「最

産性向上設備投資促進が対象が可能な「最  
税制による即時償却新設備」の要件を満た  
（2015年度生産機）していること。